

今後の収支予測

- 平成26年度は、本場収益に関しては、自場及び他場は全国傾向と同様に下落が続いているものの、在宅投票は大きく伸びている。また、業務協力金に関しては、他の地方競馬の場外発売が減となる一方で、JRAについては、GⅠ競走に加え、GⅡ・GⅢ競走を発売したことにより増となっている。その結果、歳入全体では、昨年度を上回っており、単年度収支は81百万円の黒字となる見込みである。
- 平成27年度については、在宅投票は一定の伸びが見込まれることから、平成26年度並みの歳入が確保される見通しである。なお、歳出については、開催経費を増額する。
- 今後、当面は、黒字基調で推移すると見込まれるが、収益の柱となる自場収益が引き続き減少傾向にあることから、毎年、次年度の実施について検証する必要がある。

(単位：百万円)

項目			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考		
収支影響額	歳入	①本場収益	見込額 ㉑	1,791	1,967	1,968	1,976	開催日数 77日→78日	
			内訳	自場収益	919	871	813	748	売得額×26% 8%ダウン (H26増減率 [金沢])
				他場収益	328	297	283	269	売得額×11% 5%ダウン (H26増減率 [全国])
				在宅収益	544	799	872	959	売得額×14% 10%アップ (H26増減率 [全国])
		②場外発売 業務協力金	見込額 ㉒	621	608	569	533		
	内訳	地方競馬	587	554	515	479	7%ダウン (H26増減率 [金沢])		
		JRA	34	54	54	54			
	小計		見込額 ㉓=㉑+㉒	2,412	2,575	2,537	2,509		
	歳出	③大規模施設改修費	見込額 ㉔	129	129	129	129	H29まで9億円 (年平均129百万円)	
		④開催経費 (売得額連動経費を除く)	見込額 ㉕	2,215	2,365	2,370	2,370	H26は12月の暴風雪を原因とする被害の復旧 (85百万円) を含む	
小計		見込額 ㉖=㉔+㉕	2,344	2,494	2,499	2,499			
単年度収支		㉗=㉓-㉖	68	81	38	10			
JBC分(外数)→			6						

年度当初基金残高	A	2,466	2,540	2,621	2,659
当年度積立額	B	74	81	38	10
年度末基金残高	C=A+B	2,540	2,621	2,659	2,669